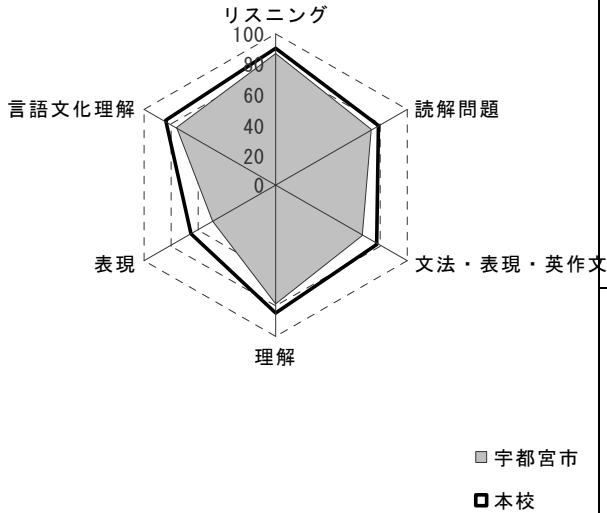


2 学年英語

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）

■平均正答率

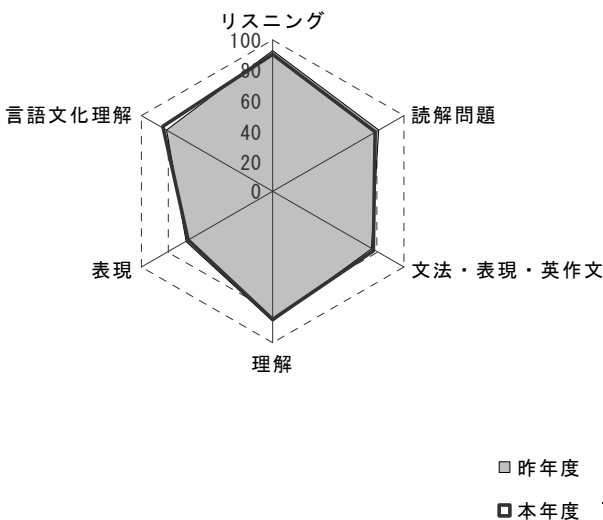


		宇都宮市	本校
領域別	リスニング	86.5	90.7
	読解問題	72.6	79.1
	文法・表現・英作文	66.3	77.3
観点別	理解	78.9	84.4
	表現	48.0	64.5
	言語文化理解	76.8	84.7

受検人数	宇都宮市	本校
	3626 人	190 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（平成18年度と平成17年度の状況）

■平均正答率



		本年度	昨年度
領域別	リスニング	90.7	92.9
	読解問題	79.1	80.6
	文法・表現・英作文	77.3	75.6
観点別	理解	84.4	86.2
	表現	64.5	65.2
	言語文化理解	84.7	81.5

受検人数	本年度	昨年度
	190 人	207 人

※平均正答率の状況から、今後指導の重点を置くべき領域や観点を明らかにし、指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
リスニング (90.7%)	昨年度の本校の正答率より、2.1ポイント下回っているが、市全体の平均も2ポイント昨年度より低くなっている。正答率90パーセント以上は良好な結果であると思われる。	ほぼ良好な結果となったが、教科書の読み取り教材を中心として指導を進め、さらに補助的な教材でリスニング力の向上を図りたい。 また、ALTなども大いに活用したい。
読解問題 (79.1%)	昨年度の本校の正答率より1.5ポイント下回っているが、市の平均より、6.5ポイント上回っている。	2年生は正確な文法の力を基本に、正確な読解を心がけてきたが、今後はその文法の力に加えて速読・速解の力を付けさせたい。教科書の一課の通し読みなどにも挑戦させたい。補助となる教材も活用したい。
文法・表現 英作文 (77.3%)	昨年の本校正答率より1.7ポイント上回っている。また、本年度の市の平均より11ポイントと、大きく上回っている。	正確な文法の力を付けさせるために、様々なタイプの練習問題を解いてきた。また、基本文などを用いたコミュニケーション活動にも力をいれてきたため、その中で正確な文法や表現が身についてきている。今後もできるだけ自然なシチュエーションの中での言語活動に努めたい。同時に、3年生では、多様な問題を数多く解かせ、更なる学力向上を目指したい。